

# 令和元年度事業報告

## 1. 会議の開催等

種別	日程	会場	出席者数	決議事項等
監事監査	令和元年 5月 8日	ハム・ソーセージ会館	監事 2名	平成 30 年度業務執行状況、財務諸表及び財産状況の監査を実施した
理事会	5月 23日	決議の省略方式	理事 11名 監事 2名	1. 平成 30 年度事業報告及び収支決算の承認に関する件 2. 平成 30 年度公益目的支出計画実施報告書の承認に関する件 3. 第 8 回定時総会の招集に関する件
理事会	6月 19日	ハム・ソーセージ会館	理事 9名 監事 2名	第 8 回定時総会提出議案について ① 平成 30 年度事業報告及び収支決算に関する件 ② 平成 30 年度公益目的支出計画実施報告書に関する件 ③ 理事 11 名・監事 2 名任期満了につき改選の件 ④ 常務理事報酬最高限度決定の件
総 会	〃	〃	委任状含め 14 名	1. 平成 30 年度事業報告及び収支決算に関する件 2. 平成 30 年度公益目的支出計画実施報告書に関する件 3. 理事 11 名・監事 2 名任期満了につき改選の件 4. 常務理事報酬最高限度決定の件
理事会	〃	〃	理事 9名 監事 2名	役員の評定互選に関する件
広報委員会	7月 31日	ハム・ソーセージ会館	委員 6名	令和元年度食肉情報等普及・啓発事業 1. 催事出展の内容等について 2. 雑誌等の広告掲載について
広報委員会	9月 3日	〃	委員 6名	1. 令和元年度食肉情報等普及・啓発事業催事出展内容、作成資料（冊子）について 2. タイアップ広告掲載について

種別	日程	会場	出席者数	決議事項等
理事会	令和2年 1月29日	浜松町東京會館	理事9名 監事2名	1. 令和元年度上期決算並びに事業推進状況について 2. 令和元年度低炭素社会実行計画の評価・検証(平成30年度実績)等について 3. その他 令和元年度第5回理事会について
理事会	3月26日	新型コロナウイルス感染症の伝播状況に関する政府の対応方針を踏まえ決議の省略方式	理事11名 監事2名	1. 令和2年度事業計画及び収支予算について

(1) 理事会

定款第33条に基づき、前記のとおり理事会を開催し、提出議案について審議し、異議なく可決承認された。

(2) 総会

定款第13条に基づき、前記のとおり定時総会を開催し、提出議案について審議し、異議なく可決承認された。

(3) その他の会議等

関連団体等との連携を密にして食品関連団体等連絡協議会等（食品産業センター）、食肉団体幹部会（日本食肉協議会）、JAS協会連絡協議会（日本農林規格協会）等の会議から情報を収集し、事業推進、会員への情報提供等に利用した。

2. 公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定に基づき、令和元年5月30日付けで、平成30年度公益目的支出計画実施報告書等を内閣総理大臣に提出した。

### 3. 会員に関する事項

期別	会員数
令和元年4月1日現在	会員数 16 (うち賛助会員2)
新規加入者	0
退会者	0
令和2年3月31日現在	会員数 16 (うち賛助会員2)

### 4. 事業の実施概要

前年度に引き続き、食品の安全性確保の根幹をなすコンプライアンスの徹底を図るとともに、安全・安心な品質の保証、ハンバーグ・ハンバーガーに関する正確な情報及び知識の普及啓発に加えて、環境対策等の事業推進を図る計画に基づき、会員各社及び関係各位のご協力のもと、以下の事業を実施した。

#### (1) 検査事業

食の安全と安心、食と健康に対する消費者の関心の高まりに対応し、消費者の食品への信頼の確保・向上に資するため、コンプライアンスの徹底を図るとともに、関係団体等と相互協力し、ハンバーグ・ハンバーガー類の品質の保証と向上を図るため、国のJAS制度及び自主制度による検査事業を的確に実施した。

令和元年度の会員合計の生産販売実績は、ハンバーグ類が54,438トン(対前年比111%)、ハンバーガー類が226,707トン(同111%)であった。また、ハンバーガー店舗数は、新規認定の13店(対前年度比76%)を加え、合計4,205店(同99%)で、これらの検査の内訳は以下のとおりであった。

#### ① JAS 検査

期末の認定工場数は、ハンバーガーパティ3、チルドハンバーグ5、チルドミートボール1の計9工場である。格付数量は、チルドハンバーグステーキ1,692トン(対前年度比106%)、ハンバーガーパティ31,818トン(同98%)及びチルドミートボール6トン(同137%)であった。(検査は、JAS登録格付機関・登録認証機関の一般社団法人食肉科学技術研究所が業務分掌契約で実施。)

#### ② 自主検査

自主規格の格付検査は、フィッシュポーションが2,926トン(対前年度比103%)、ハンバーガーが446件(同78%)であった。(検査は、一般社団法人食肉科学技術研究所へ委託。)

### ③ 店舗衛生診断

ハンバーガー店舗の衛生診断は84店舗（前年度比100%）であった。（衛生診断は、厚生労働省登録検査機関の一般財団法人日本食品検査へ委託。）

## （2）調査広報事業

関係機関、団体等と連携を密にして関連情報を収集、整理し、協会機関誌「会報」等により会員・関係機関への情報提供に努めた。これらの情報を含め、協会ホームページ等による消費者等へ普及啓発の広報活動を行った。

ハンバーグ、ミートボール、ハンバーガーの安全性について啓発することを目的として、NHK料理テキスト「きょうの料理ビギナーズ」にタイアップ広告を掲載した。「ハンバーグ・ミートボール」編、「ハンバーガー（パティ）」編とに分け、それぞれ製造の場面を取材、レポートする形式を採った。

また、昨年同様公益社団法人日本食肉協議会の委託を受けて、ハンバーグ・ハンバーガーパティ類の生産量、原料食肉使用量の調査を実施したほか、同協議会から「食肉情報等普及・啓発事業」の助成を受け、ハンバーグ・ハンバーガー類に関する栄養、健康、表示、安全確保等の正確な情報と知識を消費者に普及啓発するため、次の事業を実施した。

### ① 催事出展による普及啓発

農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会共催の『第58回農林水産祭 実りのフェスティバル』（令和元年11月1日（金）・2日（土）、豊島区池袋のサンシャインシティ ワールドインポートマートビル 展示ホールで開催）に出展し、「食品表示法について」等のパネル展示による説明、理解度を量るためのアンケートの実施及び普及啓発資料の配布、並びに会員の製品の試食等により消費者に対してハンバーグ・ハンバーガー類に係る品質管理・表示等に関する情報などの知識を普及啓発した。協会ブースへの来場者は、2日間で約2,500人であった。

なお、出展を予定していた「ちくさんフードフェア」については台風19号接近により中止となった。

### ② 食肉関係等情報知識広告

#### ア. 雑誌等広告

幅広い年代層の消費者にハンバーグ・ハンバーガー類の表示・品質管理等の知識・情報を普及啓発するため、NHKの料理番組テキスト「きょうの料理ビギナーズ」1月号（発行部数約12万部）及び「きょうの料理」2月号（同約32万部）に1頁の普及啓発広告を掲載した。

#### イ. 冊子の作成・配布

一般消費者向けのハンバーグ・ハンバーガー類に関する知識・情報の普及啓発資料として冊子「みんな大好き!! ハンバーグ・ミートボール、ハンバーガー2019」を6,000部作成し、催事会場来場者や都道府県消費者センター等に配布した。

#### (3) 環境対策事業

環境対策情報の収集、伝達等を行うとともに、ハンバーグ業界の低炭素社会実行計画に係る2018年度フォローアップ調査を実施し、その調査結果を農林水産省へ報告するとともにホームページ等で公表した。

#### (4) 連絡・調整等事業

本業界の発展向上に係る会員情報、行政情報等を収集・整理し、協会機関誌「会報」、FAX、メール、ホームページ等により会員、関係機関・団体への円滑な伝達を行うとともに、行政機関等からのコンプライアンスに係る調査対応等に努めた。

#### (5) 食肉加工施設等整備リース事業

独立行政法人農畜産業振興機構補助事業は、平成29年度に基金を返還、終了している。現在は、継続貸付物件の貸付料の管理を実施している。